

Oh!Me オー!ミー

この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています

滋賀ガイド www.gaido.jp

vol.384・9月22日号 毎週木曜発行 4面にプレゼント情報!

- Oh!Me編集室／株式会社ヤマプラ：近江八幡市桜宮町294 TEL0748-34-8872 FAX0748-34-8927
- 広告／滋賀毎日広告社：大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603 発行部数：100,000部
- 発行／毎日新聞大阪本社開発宣伝部：大阪市北区梅田3-4-5

インターネットと連動した
【滋賀生活情報紙】

職人仲間と手をつなぐ

仏壇だけでは、漆塗りの仕事を続けていくのは難しいかも……。危機感から、昨年4月に地元の木工や漆工、金工などの若手職人4人で「長浜工芸研究会」を設立した。

長浜には古くから「浜仏壇」があり、木工や漆塗り、金工など、伝統工芸の技は素晴らしい。

「伝統技術を守っているだけでは時代の変化についていけない」と、職人同士が手をつなぎ、互いの技を生かして、状況を開拓しようと考えた。

「ギャラリー八草」をオープンさせ、作品展を開いたり、漆塗りや金箔押しなどの体験教室を開催し、伝統工芸の魅力を発信している。

来月も、若手農家が栽培した米と、県内作家の器を紹介する「おいしいお米とお気に入りの器展」を計画している。土鍋を使ってご飯を炊き、作家の器で試食してもらう。ユニークな取り組みは人々の心をとらえ、ギャラリーに人が集まっている。



伝統工芸の魅力を次世代へ

わたなべ よしひさ
漆塗り職人 渡邊 嘉久さん(長浜市在住・47歳)漆塗りの技で
曳山を修復

渡邊さんは職人の家に生まれたが、伝統工芸には関心がなかった。父親も家業を継ぐことを要求してはいなかった。

学校を卒業後、銀行に就職。外で働いてみて伝統工芸の魅力と父親の仕事の素晴らしさを見直すこと

ができた。20年前、自分から跡を継ぎたいと申し出た。昼は仏壇の仕事、夜は漆器の作品づくり。同じ漆を塗る仕事でも、漆器と仏壇とでは技術が異なる。漆の木から樹液をか

佛壇店の3代目として漆塗りの技術を磨き、長浜曳山まつりの曳山修復にも携わってきた渡邊さん。職人同士で力を合わせ、伝統工芸の魅力を伝えようべく「ギャラリー八草」をオープンさせた。



若手作家の発掘も

最近、挑戦しているのは「乾漆技法」による漆芸作品作り。麻布を漆で塗り固めていく技法で、形を比較的自由に作ることができるので面白い。

「若手作家の発掘にも力を入れ、この場所をものづくりの拠点にしたいと思っています。私には息子が2人いますが、現在の職人を取り巻く状況では自分と同じ道へ進むことを勧められません。次世代を担う若者に胸を張って勧められるような魅力ある職種に変えていきたいです」と、ファイトを燃やしている。

(取材・福本)

詳しくは www.gaido.jp/3841

10/1(土)

23(日)

おいしいお米と
お気に入りの器展

- 場所：ギャラリー八草(長浜市宮前町10-12)
- 時間：平日 13:00～17:30
土日祝11:00～17:30
- 定休日：不定休 ●TEL:0749-50-3534



滋賀生活情報紙[Oh!Me]はお近くの毎日新聞販売店からお届けしています。

毎日新聞のご購読お申し込みは

フリーダイヤル 0120-468-012

ギャッベとは

南ペルシャの遊牧民によって織り続けられてきたウール100%、草木染めの優しい手織り絨毯です。

一点一点手作りで織られているため希少性があり、同じデザインのものは2枚としてありません。

何十年と使い込むほどに表情を変え、

味わい深く成長していきます。

ぜひこの機会に「自分だけの1枚」を探してみませんか。



- ご購入特典
1.分割払い手数料無料(30回まで)
- 2.ギャッベアート本プレゼント

ギャッベの収益の一部はアフガン難民の子供たちの識字教育支援と、東日本大震災の被災地支援に充てられます。

Pure Style
- SHIMADA FURNITURE -滋賀県近江八幡市西生来町1229-3
TEL 0748-37-7475
(OPEN 10:00～19:00)詳しくはHPへ! ▶▶▶ www.purestyle.co.jp

ぬくもりあふれる

アートギャッベ展

9.23 Fri ▶ 10.2 Sun 期間中は休まず営業いたします

キリム展も同時開催しております。この機会にぜひご来場ください。

250枚以上の
ギャッベを
一挙展示

関西最大規模

